堀場雅夫 生誕100周年

株式会社堀場製作所の創業者で本賞に名を冠する堀場雅夫は、1924年12月1日に京都に誕生し、今年12月1日に生誕100周年を迎えます。

堀場雅夫｜1924年12月1日生･2015年7月14日 90歳で永眠

“常にユニーク、常に独創的”

まさに「おもしろおかしく」挑戦に満ちた90年の生涯

京都帝国大学理学部在学中の1945年10月17日に堀場無線研究所を創業、学生ベンチャーの草分けとして知られる。1953年に堀場製作所を設立、1970年には米国に進出し、その後のグローバル企業HORIBAの躍進に道を拓く。

「分析･計測技術研究の分野で努力される学究の徒を少しでも勇気づけられたら」との願いから、2003年に本賞を設立。2004年の第一回から20年間で82名の方が受賞。それぞれ独創的な研究の数々は今も「ほんまもん」の技術として敬重され、若手研究者たちを導く道標となっている。授賞式が開催される10月17日は創業記念日。

［受賞歴］

1982年　永年にわたる分析･計測機器業界発展への貢献が評価され藍綬褒章受章

2006年　分析化学の世界で最も権威のあるピッツコン･ヘリテージアワードを欧米人以外で初めて受賞、27人目の殿堂入り

↑美垂子夫人、堀場厚と堀場無線研究所の玄関にて

←堀場雅夫が誕生した1924年12月1日当日に京都某所で撮影された1枚。（中央4名･左から）堀場雅夫の父･堀場信吉博士、信吉の師･大幸勇吉博士、Fritz Haber博士、田丸節郎博士

戦中戦後は食糧増産の技術として、現在では水素エネルギー利用で重要なアンモニア合成技術「ハーバー･ボッシュ法」の生みの親Fritz Haber博士来日時に、縁のある日本最高峰の研究者が京都に集まった。